

FO1 Manual

v1.0



ようこそ

Freqport の製品は、オーディオプロデューサー、エンジニア、ソングライターが純粋なアナログ処理を通じてより良いサウンドを作り出せるよう開発されました。

"Real nalog inside your computer"

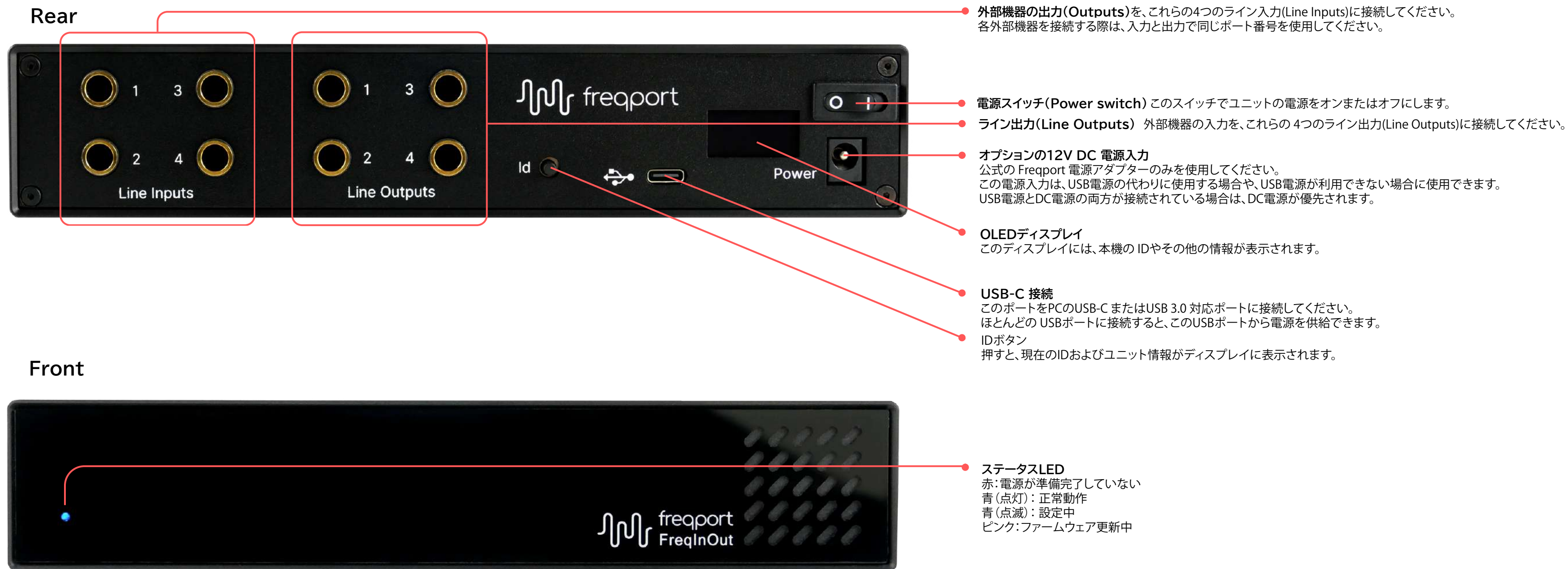
Thank you!

クイックスタート

- 1.製品をfreqportのWEBサイトへ登録してください: freqport.com/1.register-product
- 2.インストーラーを freqport.com/freqportal からダウンロードし、ソフトウェアをインストールします。
- 3.コンピューターを再起動します。
- 4.FO1 をコンピューターの空いている USBポート に接続します。
- 5.外部機器を FO1に接続します。外部機器の入力をFO1の出力に、外部機器の出力を FO1の入力に接続します。
各機器では、入力と出力で同じポート番号 を使用してください。使用したポート番号をメモしておきましょう。
- 6.FO1 の電源を入れます。
- 7.DAWを開き、プラグインリストから FreqInOut を見つけて、オーディオトラックに追加します。
- 8.FreqInOut プラグインを最初にロードすると、ウィザード(設定アシスタント) が起動します。(または、設定アイコンをクリックして「Setup Wizard」を選択すると開きます。) このウィザードでは、FreqInOut を初めて使用する際のハードウェア設定手順が表示されます。
- 9.ハードウェアの設定が完了すると、プラグイン内で接続した外部機器を使用できるようになります。
- 10.カメラアイコン を使用して、外部機器のノブの位置を写真としてプリセットとして保存できます。(この写真はプロジェクトを保存すると自動的に保存されます。)
- 11.DAW内でリアルなアナログハードウェアのサウンドを楽しみましょう!
- 12.Freqport プラグインを使用したプロジェクトのミックスダウンやバウンスには、リアルタイムレンダリングが必要です。

ハードウェア

FO1は、世界最高水準の32ビットコンバーターにより、最高のアナログパフォーマンスを実現するよう設計されています。ホストコンピューターとの接続は、背面のUSB-Cコネクタを使用します。このユニットは、USB-C経由のバスパワーまたはFreqport電源アダプター(オプション)を使用したDC電源で動作します。



ソフトウェア

Freqportのソフトウェアは、MacOSおよびWindows用の単一のインストーラーで提供されます。ソフトウェアには、複数のプラグイン形式に加え、ハブアプリケーション (analogHub) およびドライバーが含まれています。Freqportは継続的にアップデートやプラットフォームの検証テストを行っています。最新の互換性情報やソフトウェアリリースについては、Freqport の公式ウェブサイトをご確認ください。

インストール手順

1. サポートのKnowledgebaseセクションで、対応システムのリストを確認し、お使いのシステムが互換性を持っていることを確認してください。
2. Freqportのウェブサイト (freqport.com/freqportal/) のFreqPortalから、Mac OSまたはWindows用の適切なインストーラーをダウンロードしてください。
3. **既存のソフトウェアをアンインストール**
Windows : 「アプリと機能」または「プログラムの追加と削除」を開き、既存の Freqport ソフトウェアをすべてアンインストールしてください。
4. **インストール**
Windows : ダウンロードした.zipファイルを展開し、抽出された.exeインストーラーを実行してください。
MacOS : Controlキーを押しながら .PKGファイル をクリックし、「開く」を選択してインストールしてください。
5. すべてのライセンス契約とプロンプトをacceptし、インストールを進めます。インストーラーは、既定のドライブロケーションにソフトウェアをインストールします。
6. インストールが完了したら、コンピューターを再起動してください。
7. お使いのFreqport 製品を、ホストコンピューターの空いている USBポートに直接接続してください。
8. FreqInOut の電源をオンにする。
9. システムツールバーから AnalogHub を開き、「Install」をクリックして、ファームウェアの更新があればインストールしてください。

プラグイン

Freqport 製品のオーディオ処理はすべてハードウェア上で行われます。主なリアルタイムコントロールは自動化可能で、プリセットとして保存・呼び出しが可能です。

- Freqport プラグインを DAWで使用する前にまず、Freqport 製品に最適なDAW 設定についてのガイドを確認してください: support.freqport.com/portal/en/kb/freqport
- プラグインを使用するには、DAW を開き、プラグインリストから FreqInOut を見つけ、オーディオトラックに追加してください。
- 開けるプラグインの最大インスタンス数は、使用するチャンネル数と接続された Freqport ユニットの数によって決まります。例えば、1つの Freqport 製品につき、プロジェクト内で最大 2つのステレオインスタンスを開くことができます。同時に接続できる Freqport 製品の数は、使用するソフトウェアのバージョンによって異なります。
- Freqport 製品を使用したトラックやプロジェクトをレンダリング (バウンス) する際は、DAW でリアルタイムレンダリングを使用してください。

analogHub

Freqportプラグインを使用すると、補助アプリケーションであるanalogHubが自動的にバックグラウンドで開かれます。

analogHubは、Freqportシステムのステータスを表示し、ファームウェアの更新を行うことができます。

手動でanalogHubを開く必要はありません。

詳細は、本マニュアルの analogHubセクションに記載されています。

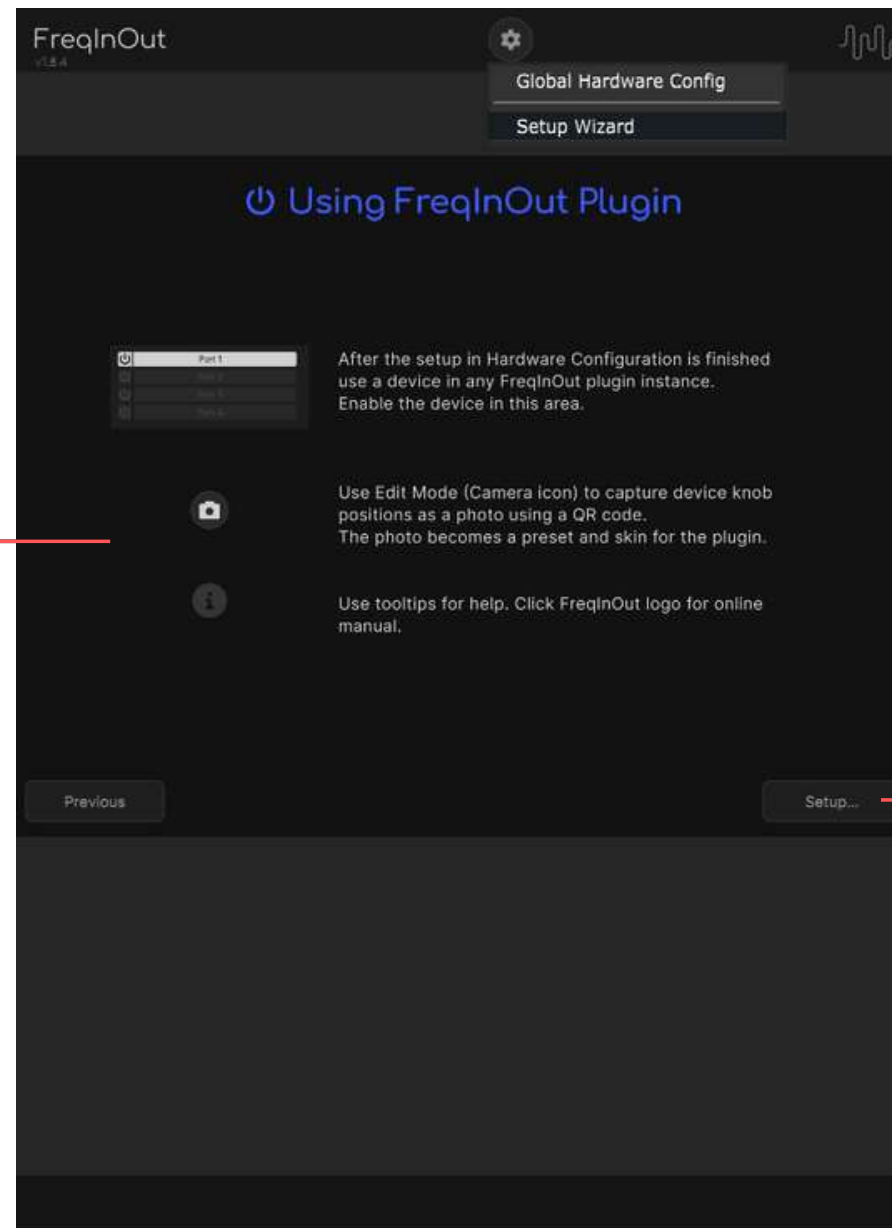


Setup Wizard

⚙️ プラグインを初めて開いたとき(または Setup Wizard メニューから)、セットアップウィザードが実行されます。

Wizard info ページ

このエリアでは、製品の設定および使用方法についての情報が表示されます。



Wizardナビゲーション

次または前の情報ページに移動できます。最後のページでは、ハードウェアの設定が開かれ、機能が有効になります。

グローバルハードウェア設定



ハードウェア設定は、FreqInOut を初めて使用する際、または新しいハードウェアが FreqInOut ユニットの追加されたり削除されたりしたときに必要です。通常の使用中に変更する必要はありません。

ユニットセクター

ハードウェアコンフィギュレーション設定は、この選択されたUnit(AまたはB)に適用されます。これは複数のFO1ユニットが接続されている場合に重要です。

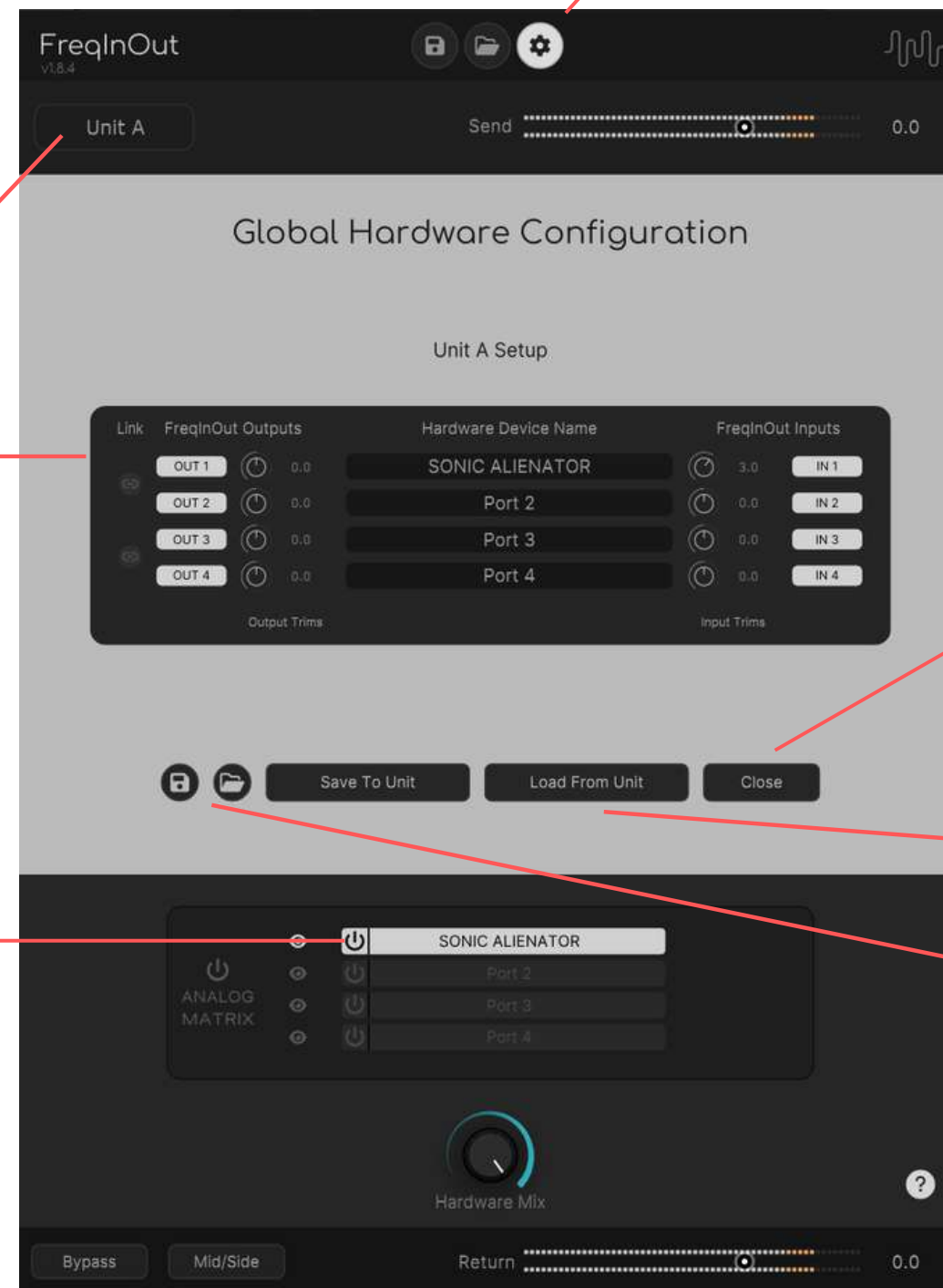
デバイス・コンフィグ設定

接続された各アウトボードデバイスのゲイントリム、リンク(ステレオ)またはモノ、名称を設定します。

設定レベル

設定ページで、デバイス有効化エリアで各デバイスを一つずつ有効にし、ゲイントリムを設定し、そのデバイスのメーターレベルを確認してください。詳しくは、「マニュアル・ゲイン・レベリング手順」を参照してください。

SettingsメニューからGlobal Hardwareconfigurationページを開きます。



マニュアル・ゲイン・レベリング手順

- 1.すべての出力機器のノブを、入力レベルおよび高出力レベルに対して通常または一般的な設定に調整する。
- 2.DAW のトラックにFreqInOutプラグインを開き、テストオーディオ信号を生成する。
- 3.デバイス設定 (Device Config Settings) の入力トリム、出力トリム、およびプラグインのSendとReturnレベルをすべてゼロに設定する。
- 4.有効エリア (Enable Area) でデバイスを有効にする。
- 5.入力トリム (Input Trim) を適切なレベルに調整し、Return メーターを確認する。
- 6.すべてのデバイスに対して、手順4と5を繰り返し、一つずつ同じレベルに調整する。異なる入力レベルを必要とする外部機器には、出力トリム (Output Trim) を使用して調整する。

クローズ

ハードウェア設定ウィンドウを閉じます。

ユニットのロードとセーブ

このページのハードウェア設定をFO1ハードウェアユニットにセーブまたはロードします。

ファイルのロードと保存

このページのハードウェア構成をファイルに保存またはファイルから読み込みます。

ハードウェア設定は、DAWプロジェクトとともに自動的に保存・読み込みされます。また、追加の「ファイル保存・読み込み」および「ユニット保存・読み込み」機能は、異なるDAWやコンピューター間での切り替え時に便利です。

プラグインの使用について



アウトボードデバイスをプラグインとして使用するには

- DAWの任意のトラックでFreqInOutプラグインを開く。
- デバイス有効化エリアでデバイスを有効にしてください。
- 理想的なサウンドが得られたら、プリセット編集モードに入り、外部機器のノブの位置を写真で記録してください。

ユニットセレクター

複数のFO1ユニットが接続されている場合は、このボタンで使用するFO1ユニットを選択します。

デバイスのキャプチャ画像エリア

キャプチャしたハードウェアのセットアップの写真がここに表示されます。この写真は、設定を呼び出すのに役立ちます。

デバイス有効化

このインスタンスのデバイスを電源ボタンを使って有効化します。このインスタンスのデバイスを目のボタンで表示できます。マトリックスの順番を上下にドラッグして調整します。

マトリックスの有効化

これを有効にすると、製品内部のアナログ・マトリックスがアクティブになり、複数のデバイスをゼロ・レイテンシーでチェーン接続できるようになります。



バイパス

クリックするとFO1の処理がバイパスされます。

プリセットの保存

選択したユニット(AまたはB)の現在のインスタンス設定をプリセットとして保存します。現在の設定はDAWプロジェクトにも保存されます。

プリセットのロード

既存のプリセットをロードします。

SEND・レベル

コンピューター/DAWからFreqInOutハードウェアへ送られる送信レベル(Send Level)とメーター(Meter)です。

プリセット編集モードに入る

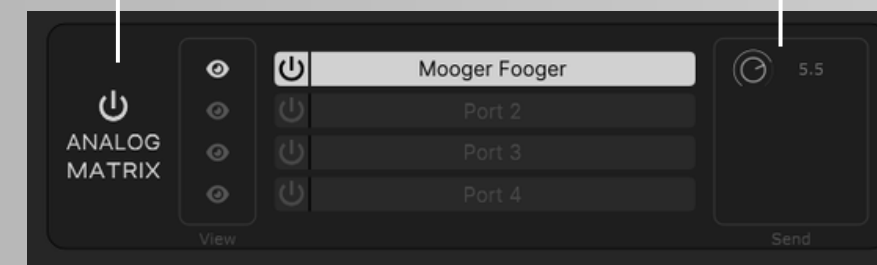
クリックしてプリセット編集モードに入り、出力デバイスの設定を写真として取り込みます。

アナログマトリックス

アナログマトリックスを有効/無効にします。

インディビジュアル

マトリックスの各出力を調整できます。



Device enable area

ズーム

ズームモードを有効または無効にする。

ハードウェア・ミックス

未加工のドライ信号を、処理された入力信号とミックスすることができます。

リターン・レベル

ハードウェアからコンピューター/DAWへ戻るリターンメーター(Return Meter)およびリターンレベル(Return Level)です。

M/Sモード

リンクされたデバイスが有効な場合、入力1(または3)はMid信号を処理し、入力2(または4)はSide信号を処理します。

プラグイン・プリセット編集:キャプチャ

プリセット編集モードに入り、写真を撮影する



- ・プリセット編集/キャプチャー・モードに入る
- ・QRコードを表示するために画像をゴミ箱に入れる。
- ・写真をアップロードする

ユニットセレクター

複数のFO1ユニットが接続されている場合、このボタンで使用するFO1ユニットを選択します。

QRコード

このQRコードをモバイルデバイスでスキャンすると、スマートフォンやタブレットからハードウェアの写真をアップロードできます。しばらくすると、画像が自動的にここに表示されます。



ゴミ箱

現在の写真をゴミ箱に捨てるか、新しい写真を追加します。ゴミ箱に入れた画像にはQRコードが表示されます。

編集/キャプチャモードを切り替える。

クリックするとプリセット編集モードに入ります。

アップロード

QRコードではなく、手動で画像を読み込む場合はここをクリックしてください。

ツールのヒント

クリックするとツールティップスが有効になり、アイテムにカーソルを合わせると主要な情報が表示されます。

プラグイン・プリセット編集：フォトクロップ



プリセット写真の画像を切り抜き、切り抜きを適用し、必要に応じて画像を回転させます。その後、編集/キャプチャモードを終了します。

デバイス・エリア
ここに表示されたデバイスのキャプチャ画像は、プリセットとして保存されています。



回転させる。
取り込んだ画像を90度回転させる。

ゴミ箱
現在の写真をゴミ箱に捨てるか、新しい写真を追加します。ゴミ箱に入れた画像にはQRコードが表示されます。

編集/キャプチャモードを終了する。
プリセット編集モードを終了するには、もう一度クリックします。

切り抜きの境界線
画像が表示された後、この境界線をドラッグして画像を切り抜くことができます。Enter キーを押すか、編集モードアイコン(鉛筆)をクリックして切り抜きを適用します。

クロップの適用または再編集
ハードウェアの写真の切り抜き編集モードに入るにはクリックしてください。

ツールのヒント
クリックするとツールチップが有効になり、アイテムにカーソルを合わせると主要な情報が表示されます。

アナログハブ



手動アナログハブはバックグラウンドで自動実行され、プラグインを使用するために必要です。通常、アナログハブへのアクセスは、レイテンシーの最適化、ファームウェアのアップデート、または新しく追加された Freqport ユニットの識別にのみ必要です。

接続状況
接続の有無

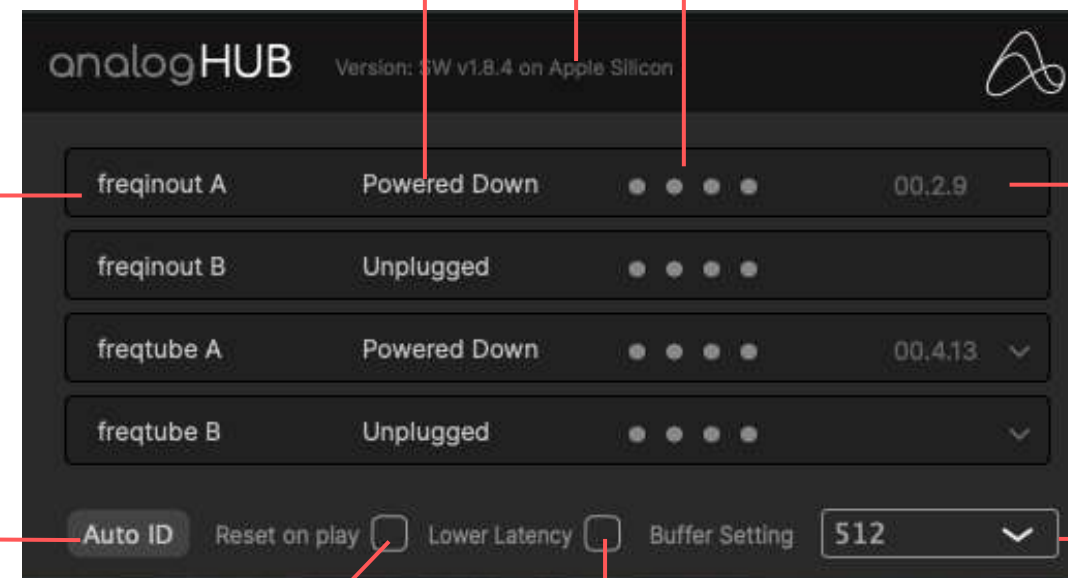
バージョン

ソフトウェアとファームウェアのバージョン、サンプル・レート、ホスト・プロセッサ・モードを表示します。

チャンネルマッピング

ハードウェアチャンネル (x4) ごとのハードウェアマッピング情報を表示します。

Freqport製品とID



ファームウェア

現在のファームウェアバージョンを表示します。

オートID

このマニュアルのユニットの識別のページを参照してください。

バッファの設定

ドロップダウンメニューから選択して調整します。バッファ設定は512です。この設定はDAWのバッファ設定とは無関係であることに注意してください。

再生時に休止

将来的なアップデートで使用可能となります。

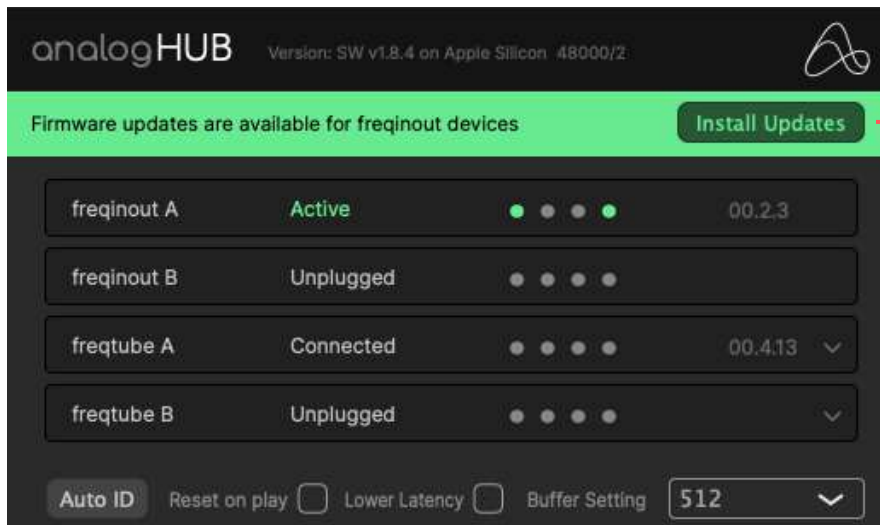
より低いレイテンシー

チェックすると、Freqportシステムは可能な限り遅延を最小化します。システムのパフォーマンスが許す場合のみ選択してください。

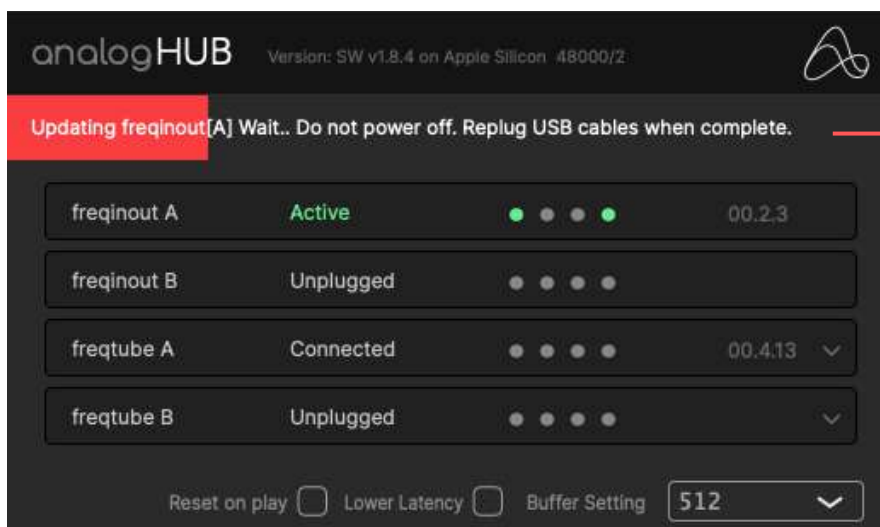
ファームウェアのアップデート



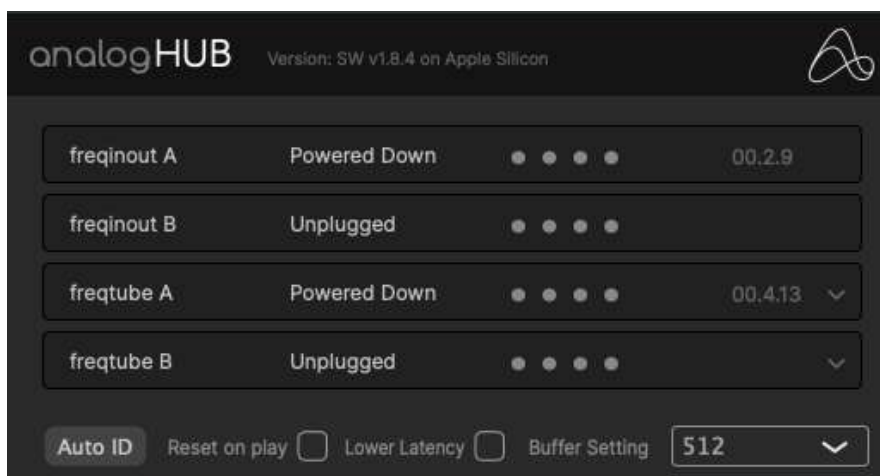
接続されているハードウェアのファームウェアをチェックし、インストールするには、タスクバーからanalogHubアプリケーションを開きます。



すべてのDAWが終了していることを確認し、クリックして接続されているすべてのデバイスのアップデートを開始します。



バー各ユニットが1つずつ更新され、その進捗状況がここに表示されます。各ユニットの更新が完了するまで、1ユニットあたり1分程度お待ちください。



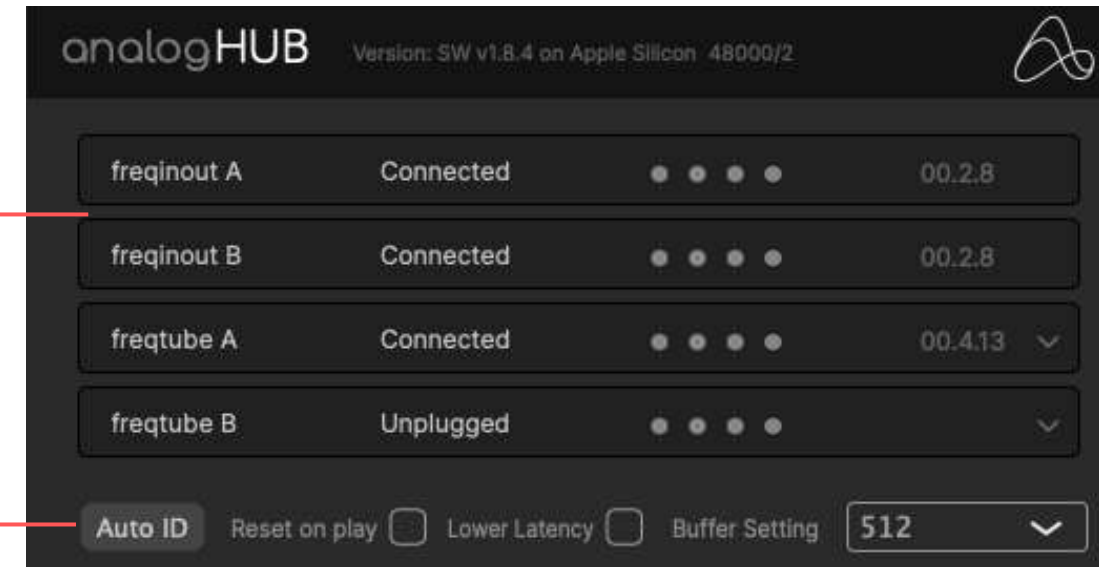
アップデートが完了したら、アップデートした各デバイスのUSBケーブルを再接続してください(これは、コンピュータが新しいデバイスを正しく登録するためです)。

ユニットの識別



ID (識別) は、2つのFO1製品が同じコンピュータに接続されている場合にのみ必要です。ユニットをID化するためにanalogHubアプリケーションを開きます。

これは、すでに識別されたユニットAとユニットBが接続されていることを示しています。



オートID

複数の同一の FreqPort ユニット (例えば、2つの FO1) を AnalogHub に接続する際、初期設定の一環として Auto ID ボタンを一度クリックすることができます。Auto ID は、各ユニットに一意の識別子 (A または B) を割り当て、システムとプラグインがそれらを正しく認識し区別できるようにします。割り当てられた ID は、Auto ID ボタンを再度押すまで固定されます。初期設定後に ID を変更しないようにしましょう。変更すると、プラグインが接続されたハードウェアを識別する方法に影響を与える可能性があります。特別な理由がない限り、Auto ID を再度押す必要はありません。

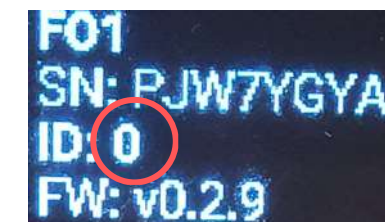


ユニットIDのリセット

必要であれば、以下のステップを実行することで、ユニットに固有のIDをリセットさせることができます。

1. 本機の電源を切り、少なくとも 10 秒間待ちます。
2. ベースプッシュボタンを押し続ける
3. 電源をオンにする。
4. ベースボタンを5秒間押し続け、離します。
5. ユニットが完全にパワーアップすると、割り当てられたIDはクリアされます。

ユニットIDを示すFreqInOut
ID = None (単一ユニットの場合、
これはAとして検出される)



ユニットIDを示すFreqtube
ID = B



ハードウェア仕様

電源入力

USB-C電源 (1.0A 5V 5W USB-CまたはUSB 3.xポート)
24W DC電源アダプター (オプション) 公式freqport電源アダプターのみを使用してください。

周囲温度範囲

0~50℃

オーディオ入力

入力4系統(+18dBu (-10dBV/+4dBu))

オーディオ出力

出力4系統(+18dBu levels)

USBコネクタ

Type-C 480Mbps.

ADC/DACコンバータ

プロ仕様ESSコンバーター
120dB DNR 32ビットDAC
116 dB DNR 32ビットADC

寸法

本体 : 220mm x 105mm x 43mm (W x H x D)
外箱 : 290mm x 130mm x 70mm (W x H x D)

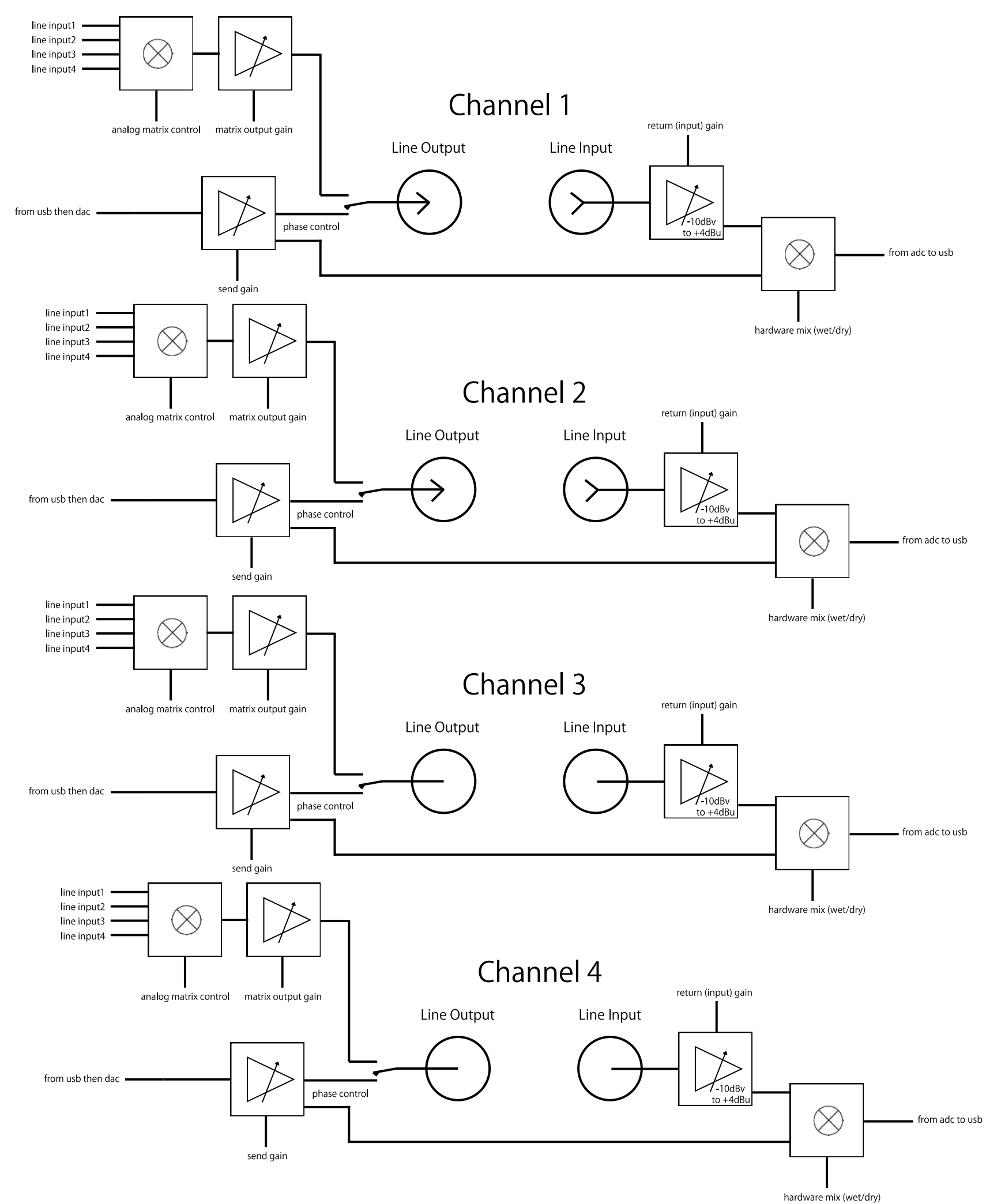
重量

本体 : 810g
箱含む : 1.40kg

制御と表示

背面にはID表示用の有機ELディスプレイ。
ID確認・設定用IDボタン。
電源スイッチ

ブロック回路図



Notices

Important Safety Information

Before using this unit, be sure to carefully read the applicable items of these operating instructions and the safety suggestions. Afterwards, keep them handy for future reference.

Take special care to follow the warnings indicated on the unit, as well as in the operating instructions.

- Read and keep these instructions.
- Heed all warnings.
- Follow all instructions.
- Do not use this apparatus near water.
- Clean only with dry cloth.
- Do not block any ventilation openings. Install in accordance with the manufacturer's instructions.
- Do not install near any heat source such as radiators, heat registers, stoves, or other apparatus (including amplifiers) that produce heat.
- Use only a power supply sourced from freqport. Attach the power adapter blade that is suitable for your country. Do not force or modify any part of the product connectors.
- Protect the power cord from being walked on or pinched particularly at plugs, convenience receptacles, and the point where they exit from the apparatus.
- Only use with attachments/accessories specified by the manufacturer.
- Unplug this apparatus during lightning storms or when unused for long periods of time.
- Refer all servicing to qualified service personnel. Servicing is required when the apparatus has been damaged in any way, such as power-supply cord or plug is damaged, liquid has been spilled or objects have fallen into the apparatus, the apparatus has been exposed to rain or moisture, does not operate normally, or has been dropped.

United States FCC Manual Statement

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try and correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and the receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

European Union CE regulation compliance statement

This product has been tested to comply with the Low Voltage Directive 2014/35/EU and the Electromagnetic Compatibility Directive 2014/30/EU. The product meets the requirements of RoHS 2 Directive 2011/65/EU.



This symbol indicates that your product must be disposed of properly according to local laws and regulations.

Notices

Warranty

Freqport provides a limited warranty on all hardware products. To learn more, please visit freqport.com/terms-and-conditions. The limited warranty gives you specific legal rights. You may also have other rights which vary by state or country.

Trademarks

freqport and freqport products are trademarks or registered trademarks of freqport PTY, LTD.
Other company and product names mentioned herein are trademarks of their respective owners.
ASIO is a trademark and software of Steinberg Media Technologies GmbH.

Patent

freqport products have patent pending, or afford patent protection. The associated technology and products are protected and owned by freqport PTY LTD.

Copyright

Copyright ©2024 freqport PTY, LTD. All rights reserved.

This manual and any associated software, artwork, product designs, and design concepts are subject to copyright protection. No part of this document may be reproduced, in any form, without prior written permission of freqport PTY, LTD.

Technical Support

Please see our customer portal FreqPortal and freqport Knowledgebase, our online technical resources for configuring, operating, and troubleshooting freqport products. You can watch helpful support videos, search the articles for answers, get updated technical information, submit support tickets, and more.

Please visit:

support.freqport.com

freqport.com/freqportal

The information in this document is subject to change without notice and does not represent a commitment on the part of freqport PTY LTD. The software described by this document is subject to a License Agreement and may not be copied to other media. No part of this publication may be copied, reproduced or otherwise transmitted or recorded, for any purpose, without prior written permission by freqport PTY LTD, hereinafter referred to as freqport.

“freqport”, freqtube, freqinout and associated logos are trademarks of freqport PTY LTD.

お問い合わせ



合同会社HAYAKUMO
〒154-0011
東京都世田谷区上馬1丁目33番7号中澤ビル2F
email: info@hayakumo.tokyo

